

2021年9月8日

丹青社が竹工芸家・四代田辺竹雲齋とともに 新たな工芸体験空間を具現化する共創プロジェクトを始動 「工芸×空間×テクノロジー」により次代の空間体験価値を創出

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：高橋貴志／以下、丹青社）は、竹工芸家・四代田辺竹雲齋氏のエージェントである有限会社夢工房（本社：京都府京都市／代表取締役社長：木山賢一）と、業務提携契約を締結いたしました。

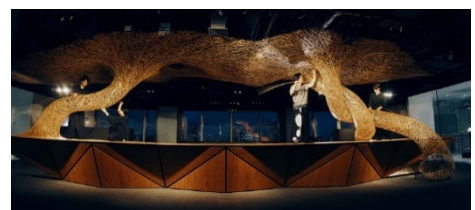
丹青社は、2019年5月より日本のアート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND（ビーオウンド）」を運営し、日本の「文化の担い手」であるアーティスト・工芸家の活動の幅を広げ、日本の文化芸術の振興への貢献を目指しています。四代田辺竹雲齋氏は、テクノロジーと伝統工芸の技法を融合した作品や巨大なインスタレーションの制作など、革新的な活動で知られています。四代田辺竹雲齋氏は「B-OWND」のサービス開始当初より参画し、丹青社本社内でのインスタレーションの展示や、丹青社で空間演出を専門に手がけるCMI（クロスメディアイノベーション）センターとともに展示を活かしたデジタルコンテンツの制作などを進めてまいりました。丹青社は四代田辺竹雲齋氏との連携を深め、これからの工芸と空間づくりによる新たな取り組みの推進を見据え、この度の業務提携に至りました。

今後、丹青社は四代田辺竹雲齋氏とともに新たな空間体験を具現化するための実証実験・開発を進め、「工芸」と「空間」の創造力・技術力とテクノロジーを融合した空間の新たな体験価値を生み出し、デジタル活用による次代の工芸の可能性を提示する共創プロジェクトを推進してまいります。

■ これまでの取り組み

【丹青社本社内でのインスタレーション実施】

2019年9月に丹青社の本社クリエイティブミーツにてイベント「四代田辺竹雲齋×B-OWND『竹によるインスタレーションーGatherー』」を開催しました。レセプションエリアの特性を活かした作品の展示により、オフィス空間における新たなアートの可能性を提示しました。



インスタレーション作品 制作中の様子

【インスタレーション作品のMRコンテンツ化】

2020年7月には丹青社のCMIセンターが中心となり、NTTドコモとともに2019年のインスタレーションの撮影データを用いて三次元デジタルアーカイブ化し、展示空間を鑑賞できるMR(複合現実)^(*)を制作しました。空間全体を作品とするインスタレーションは、映像や写真の記録だけでは追体験が困難ですが、テクノロジーと組み合わせることで、高精度に展示を再現し、臨場感ある新たな文化体験モデルを提案しました。



MRコンテンツ体験のイメージ

※MR(Mixed Reality:複合現実)：現実世界の形状などをデバイスが把握し、それらにデジタル映像を重ね合わせることができる技術。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：山岡、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

■ 四代田辺竹雲齋 氏 コメント

この度、丹青社と業務提携させていただくこととなりました。テクノロジー化が進み、新たな時代を迎えている現在、アートや工芸が大きく変化しています。この業務提携により、日本のアイデンティティーを持つ工芸が進化し、創造性と技術、そしてテクノロジーが融合する新たなプロジェクトを創り出します。

<プロフィール>

1973年 大阪府堺市に三代田辺竹雲齋の次男として生まれる。東京藝術大学 美術学部彫刻科 卒業後、父三代竹雲齋に師事。代々の伝統技術を受け継ぎながら、竹の大型インスタレーションを海外の美術館などで展開する。



■ 有限会社夢工房 代表取締役社長 木山賢一 氏 コメント

弊社契約アーティストである四代田辺竹雲齋の標語する「伝統と革新」をより高い次元で実現させるべく、この度業務提携させていただくこととなりました。丹青社のデジタルコンテンツや空間プロデュースなどの膨大な経験とリソースの活用により新たな価値創造につなげ、竹雲齋の夢の実現のためにもともに邁進していけることを大変喜ばしく思います。



■ 株式会社丹青社 コメント

●吉田 清一郎（企画開発センター 事業開発統括部長）

四代田辺竹雲齋様にはB-OWND立ち上げ時よりご参加いただき、その伝統を受け継ぎ革新を続ける作品づくり、サステナブルな価値観に共鳴し、共創プロジェクトを始動させていただくことになりました。田辺様、夢工房様とともに工芸と空間、そしてテクノロジーが接続する新たな価値を世界へ発信してまいります。本共創にどうぞご期待ください。



●澤島 寿成（CMIセンター 空間メディアマーケティング統括部 室長）

デジタルアーカイブとして鑑賞体験の価値を向上するMRにいち早く着目し、「四代田辺竹雲齋×B-OWND『竹によるインスタレーション-Gather-』」をデジタルコンテンツとして開発したのが、四代田辺竹雲齋様との出会いでした。

空間とテクノロジーを融合させ、工芸の新たな価値創造を共創プロジェクトとして実践してまいります。



■ 丹青社について

「ここを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
設立 : 1949年10月14日
資本金 : 40億2,675万657円 (2021年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 9743/業種名: サービス業)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。